

2020年10月20日

指導者・保護者 各位

大阪府小学生バレーボール連盟

会長 山崎 敦久

理事長 森 和夫

練習再開にあたっての注意事項(お願い)

コロナ禍のもと、皆様方におかれましては感染防止策に最大限の配慮をしていただきながら、選手たちのため、日々の練習など諸活動にかかわっていただいていますことに深く感謝申し上げます。

情勢の鎮静化の兆しが見えない状況ですが、府小連といたしましては11月に予定されている秋季大会開催の為、運営方法や安全配慮などの検討を重ねています。

選手に目標を持たせ、自己を高めていくことは、コロナ以前の状況下でも同じことで変わりはないといえます。しかし、行き過ぎた指導や不適切な指導がこの状況下で起こってしまつては残念な結果を招いてしまいます。

つきましては、数か月に及ぶ活動自粛(停止)後、選手の心身の健康状態を常に把握しながら、今後の活動に臨んでほしいと思います。

- (1) 長時間の練習をしない。選手の体力低下や運動能力が落ちている状態(特に心肺機能・持久力の低下がみられる場合)では、過負荷が原因で大きな事故やけがが起こりやすい。
- (2) 早朝から夜遅くまでの練習は選手がストレスをためる要因になり、練習効率も低下する。また、保護者への過度の負担(食事・弁当・経費・送迎など)を強いることにもつながる。
- (3) 指導者の焦りや不安要素から、選手への体罰・暴力・暴言・ハラスメントに陥りやすくなる。指導者もストレスをためないようにする。

以上の点から、各団体の指導方法や保護者との協力体制を再度見直しをしていただき、選手が安心して活動ができますようお願い申し上げます。